

厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業)  
(分担研究報告書)

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究  
各学会・団体での患者・市民向け情報の作成・提供への取り組み (日本癌治療学会からの検討)

研究分担者 河野 浩二 福島県立医科大学 消化管外科学講座 (主任教授)

研究要旨

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究に関して、日本癌治療学会を代表する立場から本プロジェクトに参加した。2022年10月の日本癌治療学会総会において、がん治療学会が運営するがん診療ガイドラインホームページの運営を通して、①いかに根拠に基づく正確性を評価するか、②医療者に対する情報の提供体制を構築するかを議論した。

A. 研究目的

本研究では、厚労行政、国立がん研究センター、関係学会等との連携による

- 1) 正しい情報の作成と提供、
- 2) たどり着きやすくするシステム、
- 3) 活用環境

の3側面から、科学的根拠に基づくがんの情報を迅速に提供するための体制整備につなげる方策を提言することを目的とする。

B. 研究方法

がん治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ」について、2022年次総会において、がん診療ガイドラインシンポジウムを開催することで、診療ガイドラインの役割と質の向上について議論する

(倫理面への配慮)

本研究は、患者さんの個人情報などを扱う内容ではなく、特に倫理面の配慮の必要はない。

C. 研究結果

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究に関して、日本癌治療学会を代表する立場から本プロジェクトに参加した。

班会議において、がん治療学会が運営するがん診療ガイドラインホームページの運営を通して、①いかに根拠に基づく正確性を評価するか、②医療者に対する情報の提供体制を構築するかを議論した。

また、日本癌治療学会の年次総会において、がん診療ガイドラインシンポジウムを開催し(添付資料)、最新のガイドライン改定状況、質の向上、周

知の状況について議論した。癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ」は、適切な第三者評価がなされ、科学的根拠に基づくガイドラインが適切に運営されていることが確認できた。ホームページ利用者は学会員を対象としているため、約35%が医師、約40%が薬剤師の利用状況であった。

第60回日本癌治療学会集會 がん診療ガイドライン統括・連絡委員会企画シンポジウム

日 時: 2022年10月22日(土) 8:30-10:30 (120分)

会 場: 第6会場(神戸ポートピアホテル 簡素2)

テーマ: がん診療ガイドラインの最近の動向

これまで数多くのがん診療ガイドラインが策定されてきた。日常診療に与えた影響の大きさは言うまでもないが、医療の質の向上、均てん化、医療経済への影響など、当初から期待されてきた意義において、どこまで応えられてきたのか、明確ではない。本シンポジウムでは、まず最近改訂あるいは新規作成された4つのガイドラインについて紹介いただき、ついで医療経済と医療の質に関する講演からガイドラインの意義を再考するヒントを得たい。最後にガイドラインを支えるエビデンスの源泉たる全国がん登録における最近の取り組みを紹介いただき、ガイドラインの今後を考察したい。

プログラム:

司 会

長谷川 潔 東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学肝胆膵外科、人工臓器・移植外科/日本癌治療学会がん診療ガイドライン統括・連絡委員会委員長  
河野 浩二 福島県立医科大学消化管外科学講座/日本癌治療学会がん診療ガイドライン統括・連絡委員会副委員長

1. 開会の挨拶(3分)

長谷川 潔 東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学肝胆膵外科、人工臓器・移植外科/日本癌治療学会がん診療ガイドライン統括・連絡委員会 委員長

2. 胃癌診療ガイドライン 2021年版改訂のポイント (発表10分+質疑応答3分)

寺島 雅典 静岡県立静岡がんセンター胃外科/日本胃癌学会

3. 肝癌診療ガイドライン 2021年版改訂のポイント (発表10分+質疑応答3分)

建石 良介 東京大学医学部附属病院消化器内科/日本肝癌学会

4. 十二指腸癌診療ガイドライン作成のポイント (発表10分+質疑応答3分)

庄 雅之 奈良県立医科大学 消化器・総合外科/日本肝胆膵外科学会

5. 成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン改訂のポイント (発表10分+質疑応答3分)

馬場 英司 九州大学大学院医学研究科連携社会医学分野/日本臨床腫瘍学会

6. 診療ガイドラインにおける医療経済評価 (発表15分+質疑応答5分)

馬場 俊明 国立国際医療研究センター国際医療協力局

7. 医療の質向上に向けた診療ガイドラインの活用 (発表15分+質疑応答5分)

福岡 敏雄 倉敷中央病院総合診療科/公益財団法人日本医療機能評価機構

8. 全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備 (発表15分+質疑応答5分)

平田 公一 北海道旅客鉄道株式会社 JR 札幌病院/厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業(厚労科研平田班)

9. 閉会の挨拶(3分)

河野 浩二 福島県立医科大学消化管外科学講座/日本癌治療学会がん診療ガイドライン統括・連絡委員会副委員長

D. 考察

癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ」は、適切な第三者評価がなされ、科学的根拠に基づくガイドラインが適切に運営されて

いた。

#### E. 結論

広く一般市民を対象とした癌治療の情報を提供するためには、その目的に特化した組織の構築が必要であり、その組織と各種学会の協力体制が望ましい。

#### F. 健康危険情報

特になし

#### G. 研究発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

##### 1. 論文発表

本研究に関連するものは特になし

##### 2. 学会発表

第60回 日本癌治療学会 がん診療ガイドライン  
統括・連絡委員会企画シンポジウム

「がん診療ガイドラインのUpdate2022」

2022年10月 神戸

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし

